

9月21日は認知症の日『世界アルツハイマーデー』

世界アルツハイマーデーとは、1994年に国際アルツハイマー病協会が認知症への理解を深め支援を呼びかける日として制定。日本では2024年に「認知症の日」と定め、9月はアルツハイマー月間として世界各国、日本国内で啓発活動が行われます。



【認知症について展示・無料冊子配布】

9/3(木)～9/8(火)
横田コミュニティセンター
玄関ロビー

9/9(水)～9/15(火)
役場仁多庁舎1階
タウンホール

9/9(水)～9/15(火)
カルチャープラザに多
図書室

2026年標語 「忘れても 笑顔で暮らせる 街づくり」



映画「オレンジ・ランプ」を上映します

39歳で「若年性アルツハイマー型認知症」と診断をされた男性の実話をもとに映画化された物語。どのように認知症と向き合い受け入れたのか。よりよく人生を生きるヒントを見つけてみませんか。

日にち：**9/17(木)**
時 間：13：30～15：00
開 場：13：15～
場 所：横田コミュニティセンター 青年室

出入り自由ですが人数に制限があります。お早めにお越しください。
*おれんじカフェ開催日に行います。



映画「オレンジ・ランプ」をあなたの地域で上映してみませんか？
上映していただける団体を募集しています。
詳細についてはご相談ください。

【お問い合わせ・お申し込み】

奥出雲町地域包括支援センター
電話：54-2512
有線：31-5000(内線5283)

横田高校

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」



▶2年生の探究について
意見を共有する午前中の
ワークショップ



「環境意識向上」
をテーマに探究した
3年生の発表



▶糸原町長をはじめ
講師の方々から
あたたかいコメントを
いただきました

奥出雲学代表者発表会 7/14(火)開催！

梅雨明けの夏らしい暑さを迎えた7月の中旬、横田高校の探究学習「奥出雲学」の代表者発表会が奥出雲町民体育館(午前・カルチャープラザに多午後)で開催されました。

午前の部は2年生の探究活動に関するワークショップを実施しました。各学年2名ずつ、3学年合計で6名のグループを編成し、各グループでこれから探究活動を本格化する2年生の発表を聞き、よりよい探究のためのヒントを模索する内容でした。すでに探究活動を終えた3年生が話し合いをリードしながら、2年生・1年生も活発に意見を交換する学びの交流の場となりました。

午後の部は糸原町長、島根県立大学田中准教授、島根大学古崎講師を講師としてお招きし、3年生の代表者5名が自分たちの探究活動の成果を発表しました。5人のテーマは「子どもへの関わり方」、「演劇で地域振興」、「ペットと防災」、「高齢者と美容」、「環境意識の向上」等さまざまでしたが、講師の方々からは、「横田高校の探究学習の強みは、共通して『自分の『好き』を原動力にしている』こと」、「地域の方々の協力」を得て「実際に動いてみる」ところにある」とのコメントをいただくことができました。

「来場いただいたみなさま、お忙しい中ご参観・助言等いただき誠にありがとうございました。」

行政相談のご案内

困ったら
一人で悩まず

行政相談

行政相談は、国の行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。
奥出雲町では、行政相談委員が、次のとおり行政相談所を開設します。
相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にお越しください。

日時	場所	行政相談委員
三成 中央公民館 開設日 午前8時30分～ 午後5時15分	三成中央公民館 電話：54-1311 (予約制)	長谷川勝一
横田公民館 開設日 午前8時30分～ 午後5時15分	横田公民館 電話：52-0949 (予約制)	安部茂寿

※行政相談委員が不在の場合などがありますので、事前に公民館にお問い合わせください。



【お問い合わせ】

総務省島根行政監視行政相談センター(きくみみ島根)行政監視行政相談課 電話：0852-21-3630

全国の皆様からたくさんのお寄せをいただきました

令和7年度奥出雲町ふるさと応援寄付



7億4770万円(対前年比2325万円減)
1万6290件(対前年比5792件減)

ふるさと納税は、寄付金の使途を指定することができ、令和7年度は次の事業に活用させていただきます。

ご公表に了承いただきました方を奥出雲町ホームページにてご紹介しております。たくさんのお寄せをいただき、誠にありがとうございました。

◎人口定住・結婚対策に関する事業
〔2800万3千円〕
住宅整備支援事業、若者還流促進事業など

◎出産・子育て支援に関する事業
〔2億346万9千円〕
保育料無償化事業、妊産婦健康診査交通費助成事業、認定こども園開設準備事業など

◎自然環境・環境保全に関する事業
〔1億4128万5千円〕
登山道整備事業、農業遺産推進協議会補助金など

◎観光振興に関する事業
〔4778万5千円〕
町内観光施設運営費など

◎教育・文化・スポーツ振興に関する事業
〔9532万4千円〕
中学校楽器等購入費、文化的景観保護推進事業など

◎その他事業
〔2億3183万7千円〕
通学バス停置場整備事業、仁多地域統合小学校整備事業、災害対策備蓄用品購入費など

<活用事業を紹介します>

若年世帯等の住宅整備をサポート



町への移住及び定住を促進するため、若年世帯及び転入者が行う住宅整備に対して補助金を交付しました。(新築工事7件、改修工事6件)

保育料の無償化



国の無償化の対象とならない10～2歳児の保育料を無料にしました。

仁多地域統合小学校整備事業



教育環境の充実を図るため、仁多地域の小学校を統合し、令和8年4月「仁多小学校」が開校しました。